



杉十

6月号

平成29年5月31日

杉並区立杉並第十小学校

自分が○○だったら

校長 山口 京子

大阪府寝屋川市に、32年間生きている「金太郎」という金魚がいるそうです。金魚の寿命は長くても15年ですから、人間なら100歳以上の長寿です。金太郎は、音楽教室を営む72歳の佐々木郁子さんが、32年前に教室の教え子から譲り受けて以来、ずっと育てています。エサは1日1回、フンの量を確かめながら適量与え、月1回は水を丁寧に交換します。夏は水槽に扇風機をあて、冬はストーブを近づけて水温を25~30度に保ちます。傷を見つけたときは、脱脂綿で消毒液を塗るのだと。このように、佐々木さんは、「自分が金魚だったら」と考えて、世話をしてきたとのこと。今では佐々木さんが「おはよう」と声をかけて近付くと、金太郎も胸びれを動かすようになり、32年前に3センチだった体長は25センチに成長したそうです。佐々木さんは「いのちを預かったからには、長生きさせたい」と今も大切に育てています。(朝日新聞5月27日夕刊より)

天気が良くて暑くなりそうな、先週の月曜日の朝のできごとです。環境委員会の女の子が、玄関前のプランターの植物に水をやっていました。私は朝の挨拶をしながら、その様子を見ていきました。すると、その子は、いつもより念入りに、多めに水をやっているのです。その子が当番の義務感で水やりをしているのではないことがはつきりわかりました。「自分が植物だったら」と考えているのです。土・日の2日間水がもらえなくて喉がカラカラだらうな、今日は暑くなりそう

だから多めの水分補給が必要だ、と自分におきかえて考え、行動に移しているのだと思いました。

校内でもいたるところで、多くの子どもたちが、動植物のいのちを守っています。1年生はアサガオの芽にぐっと顔を近づけて話しかけながら。2年生は自分のミニトマトの名前を呼び、昨日からの変化を見付けながら。3年生は生まれて10日余りのカイコの旺盛な食欲に驚きの声をあげながら。「自分が○○だったら」と考えて心をこめて世話をしている姿はとても素敵です。

動植物のいのちはもちろん、自分のいのち、友達や家族など周りの人のいのちを大切にできる人として成長してほしいと心から願います。

相手を思いやった言葉をかけていますか。相手が悲しむかもしないと想像して行動を慎んでいますか。子どもたちも「自分が○○だったら」と想像して行動できる人であってほしいですし、私たち大人も率先して範を示したいと思います。

6月は「いのちの教育月間」です。杉十小の431人の子どもたち全員の安心・安全を、教職員・保護者・地域の皆様で共に守っていきましょう。

5月25日 杉並警察署長より 交通功労者表彰を受けました。

杉十小PTAの皆様・町会の皆様・教職員が共に、朝の通学路の見守りをし、交通安全対策を積極的に推進し交通事故防止に貢献したことに対する感謝状です。皆様、いつも本当にありがとうございます。

安全指導・避難訓練

生活指導担当

取り組み1：安全指導のめあて

本校では、毎月一回「安全指導日」を設け、年間指導計画に基づき、生活安全と交通安全について学級で指導をしています。6月は次のような内容で指導をしています。

- | | |
|-----|---|
| 低学年 | • 地震の時は先生の指示に従って安全に避難できる。 • 近くに横断歩道があるときは、かならず横断歩道をわたる。 |
| 中学年 | • 地震の時に起こる危険について知り、安全に避難できる。 • 道路を横断するときのいろいろな危険について知り、安全な横断ができる。 |
| 高学年 | • 色々な場合における避難の仕方について知り、地震の時の安全な行動ができる。 • 夜間における安全な道路の横断の仕方について理解し、安全な横断ができる。 |

取り組み2：小中合同引き渡し訓練

今年度も、杉十小、杉三小、高南中の三校合同で、東海地震発生を想定した合同引き渡し訓練を行います。この訓練は、児童の安全確保と児童の保護者への確実な引き渡しをできるようにしていくためのものです。

引き渡しは、各教室で行います。ご多用のこととは思いますが、ご協力よろしくお願ひいたします。

日時 6月21日（水）

13:45 引き渡し開始

場所 杉並第十小学校 各教室

注意 高南中に通われている上のお子さんがいる場合は、上のお子さんから先に引き取りを行ってください。

読書月間

図書担当

6月は杉十小の読書月間です。5月24日の集会で、図書委員が寸劇「それからの本太郎」を演じ、読書月間の紹介をしました。2年前の寸劇、「本太郎さん」は、読書嫌いの鬼を退治しに行きましたが、今では鬼にもらったゲームに夢中になってしまった本太郎さん。犬、さる、きじの助けを借りて、今度は鬼たちが、読書のおもしろさを訴えました。

読書月間中は、一人本が3冊借りられ、後半の2週間は中休みも図書室を利用できます。また、しおりコンクールやくじ引き、読み聞かせと図書委員が活躍します。6月は、杉並区のこども読書月間でもあります。ご家庭でも、ぜひ、お子様と一緒に「本の世界」を楽しみましょう。



▲図書委員会の「本太郎さん」

かがやけ！杉十の子

5月1日より西東京市立中原小学校 副校長として昇任しました。

5月15日（月）の全校朝会で、離任の会を行いました。

長いようであつという間の4年間でした。大きな校舎や広い校庭で力一杯がんばる子供たちの姿を見て時には成長を喜び、時には自分も励まされました。理科では、蚕糸の森公園と隣接している特色を活かして、植物や昆虫の観察をたくさん行うことができたこと、オープンスペースを有効利用して、風を使ったおもちゃの実験をダイナミックに行なったこと。思い出は尽きません。PTA役員の皆様、保護者の方にも大変親切にしていただきました。年度の途中での異動で大変残念ではあります、今後のご健康とご活躍をお祈りしております。ありがとうございました。

少人数算数の授業について

算数少人数担当

3年生から6年生の算数は、習熟度別少人数指導を行っています。これは、学校において、児童の「確かな学力」を育成するために、東京都教育委員会が推進しているものです。習熟の程度を把握し、学習グループを編成し、それぞれのグループに適した教材を用いて授業を行っています。その日の授業で身に付ける力は同じですが、グループによって学び方が違うということになります。

机上の学習だけでなく、体験的な学習を重ねることで、理解が深まることがあります。例えば、5年生の「体積」の学習で 12 cm^3 を作る活動を取り入れました。 1 cm^3 のカラフルな教具を12個ずつ使いました。同じ 12 cm^3 でもいろいろな形になり、楽しみながら体積を体感できる学習になりました。

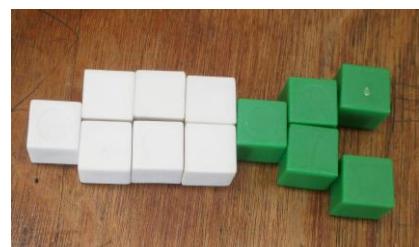
算数が苦手な子でも、楽しく学べるよう、今後も指導の工夫をしていきたいと思っています。



▲ 12 cm^3 の上から見たトマト



▲ 12 cm^3 のイチゴアイス



▲ 12 cm^3 の大根

3年生 「蚕糸の森研究所」 カイコ研究室

3年担任

蚕糸の森研究所の中で、3年生で担当するのは「カイコ研究室」です。カイコの飼育を中心に、カイコについての調べ学習、カイコの繭を使った工作などさまざまな活動をしていく予定です。

今年度3年生の子供たちとカイコが出会ったのは、5月13日の理科の日でした。その日は卵の観察をして生まれるのを楽しみにしていたところ、18日前後にたくさんのカイコが生まれました。本当に小さな小さなカイコでしたが、クワの葉に小さな穴をあけているのを見た子供たちは、「すごいねえ。」「かわいいね。」と言っていました。

1日1回クワの葉を与えていましたが、最近は1日2回でないと食欲に追い付けなくなりました。推定450頭くらいのカイコがいますので、今後もっとクワの葉が必要になりそうです。4年生に教えてもらった学校や蚕糸の森公園にあるクワの木や、保護者の皆様からお寄せいただいたクワの木情報を探りに、カイコのお世話を続けていこうと思っています。クワの木の情報をくださった皆様、紙面をお借りして御礼申し上げます。本当にありがとうございました。必要に応じて葉を取らせていただけるか、お願ひに行こうと思っています。

無事全部のカイコが繭を作り、羽化するまで、3年生のお世話と観察は続きます。皆様応援してください。



▲カイコの卵（顕微鏡写真）



▲頭を寄せあって観察



▲生まれたばかりの1令幼虫（ケゴ）